

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 回復期脳卒中患者の心理的側面が実生活での
上肢使用に与える影響

研究の目的

脳卒中により片麻痺を呈し回復期病棟に入院中の患者さんの、上肢（腕や手）の使用状況とその満足度を測定する指標であるMotor Activity Log (MAL) に対する心理的側面の影響度を明らかにし、作業療法場面における心理的側面への配慮について明らかにすることです。

研究実施期間： 令和7年10月14日 ～ 令和8年3月31日

対象となる方： 回復期病棟に入院加療中である脳卒中患者50名を予定しています。対象となる方の条件として、①60歳以上90歳未満であること②意識障害、認知症、高次脳機能障害などにより説明に対する理解やアンケートへの回答に困難さがなく③入院病棟の変更や家族関係などの環境変化により精神状態に変化のない方、の3点を設定します。

利用させていただきたい試料・情報について（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記載されている情報のうち、MAL、CES-D、Apathy Scale、Fugl-Meyer Assessment (FMA)、Functional Independence Measure (FIM)、簡易上肢機能検査 (STEF) について、標記研究課題実施のために利用します。本研究では、発症後2カ月時点で実施された検査結果を収集します。

具体的には、MALに対するCES-D、Apathy Scale、FMA、FIM、STEF、心理面（カルテ上ではなく新たに実施させていただく項目）の影響度について統計的解析手法を用いて比較することで、MALにどの程度関わっているのかを明らかにします。

なお、利用にあたっては、氏名、住所、電話番号、患者番号等の個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定されることはありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

リハビリテーション部・芳野歩未 0172-28-7780/ot_staff@reimeikyuu.jp